

1 研修主題

『進んで学び、考え、根拠や資料をもとにわかりやすく伝える児童の育成』
～国語科における言語活動の充実を通して～

2 主題設定の理由

本校では、「ふるさとを愛し、地域づくりに貢献する人材の育成～自分大好き、愛国大好き、学校大好き～」知と体の充実、活用力の充実、心の充実を重点課題とし、新年度の教育活動をスタートさせた。

昨年度は、少人数・複式学級であっても、一人一人にしっかりとした活用力（思考―判断―表現）を身に付けさせることを目的に、少人数・複式学級ならではの良さを生かし、限られた時間であっても効果的に指導する方法を探るため、学習過程の工夫やガイド学習の工夫・改善に着手し、愛国モデルの作成に取り組んだ。特別な研究ではなく、日常の取組を研究にすることで、子どもたちの実態と問題点を明確にしながらか進めることができ、基礎・基本がしっかりと定着しているという成果が明らかになった。また、誰もができる学習リーダーの育成については、子どもたちが「授業を進める側に立つ」という役割の自覚が学習意欲の高まりにつながり、それを支えるフォローア―としての自覚が「みんなで学ぶ」意識を高めることにつながった。また、ガイドによる間接指導の展開により、「待つ」＝「受け身」ではなく、「自分たちで解決する」＝「主体的」な図となり、授業に活気が出てくることを実感できたことも成果の一つである。一方で、自分の考えを言葉や文章で適確に表現する力や、文章や話し手の意図を読み取る力に課題が見られた。

そこで今年度は、昨年度の研究で培った力を基盤に、授業で習得した力（基礎・基本）を活用できる力を身に付けさせるために何が必要であるかを追求する。そのために各学年の発達段階に依じて、学習過程の中に書く活動を位置付け、根拠や資料をもとに生き生きと自分の考えや思いを交流し合う子どもの育成について指導方法の在り方を探っていく。

子どもたちが学びを自分のものとしてとらえるために何を学ぶかを明確に提示し、学習過程に書く活動を位置付け、自分の考えを明らかにしたり、資料の提示など相手を意識して伝えたり、相手の意図を考えメモを取りながら聞いたり、言語活動を取り入れた学習過程を工夫することで、自ら考える力と考えをわかりやすく伝える力が身に付き、社会で活躍できる人材へと育つであろうと考え、主題を設定した。

さらに、国語の学習で学び取ったものを活用する場面を、各教科や総合的な学習の時間などに横断的に設定し、学びを活用する姿を求めていくことにより、学びの深化を図ることができると考える。

3 研究仮説

【仮説1】

学習過程の中に意図的に書く活動を位置付けることにより、考えたことをわかりやすく伝える力を身に付けた児童が育つであろう。

学習過程において、発達段階に応じた書く活動を位置付け、自分の考えの根拠を明確にしたり、話す内容を文に書いて構成を工夫したり、話題の中心をメモに記したりすることで、自分の考えを整理し相手を意識して、わかりやすく伝える力を育てることができると考える。

【仮説2】

自分の思いや考えを表現するための知識や経験と多様な思考手段を身に付ける指導の工夫により、自ら学びを求め、深め、高めようとする活用力（思考—判断—表現）を身に付いた児童が育つであろう。

自分の思いや考えを伝え高めるためには、まずは自分の考えをもつことが第一前提となる。そのためには、「自分の考えをもちたい」という学習意欲を高める必要がある。そこで、言語活動の充実を図り、見通しをもって学習に臨めるようにし、導入における工夫、目的意識をもたせる工夫や指導の重点化を図る工夫を行う。また、語彙力や語句を理解する力の向上を図るための工夫として、辞書調べや音読も前年度までの研究と同様継続する。「できた、わかった」と学びの成果を実感し、自信をもって学びに向かう姿勢を身に付けることにより、自ら学習課題を見付け、思考力、判断力、表現力を活用し、意欲的に課題を解決する児童が育つのではないかと考える。

4 研究の視点と内容

□研究の視点①

自分の思いや考えを表現するための知識や経験と伝える方法を身に付ける指導の工夫。（仮説1）

○児童の発想が生きる言語活動の充実。

- ・根拠を明確にし、自ら考える力を高める書く活動を通した一人学び。

□研究の視点②

少人数・複式学級におけるガイド学習を中心とした効果的な学習指導方法の改善。（仮説2）

○少人数学級、複式学級でのガイド学習の在り方。

- ・学年別ガイド学習のマニュアルの作成～発達段階に応じたガイドの育成。
- ・辞書調べ（新出漢字、言葉の意味等）

□研究の視点③

少人数・複式学級の活用力を鍛える学習過程の構築。(仮説 1, 仮説 2)

○本校独自の一単位時間及び単元全体での学習過程の質の向上。(愛国モデル)

- ・ユニバーサルデザインの授業づくり。～誰にでもできる, 学習課題の明確化
- ・複式間接指導時における, 「主体的・対話的で深い学び」の導入。
- ・「伝えたい」, 「受け入れたい」など相手意識をもった伝え合いと, 学び得たことを新たな学びにつなげる学び合い。
- ・次の学びにつながる学習者による振り返り(自己評価)。
- ・定着, 学習評価。

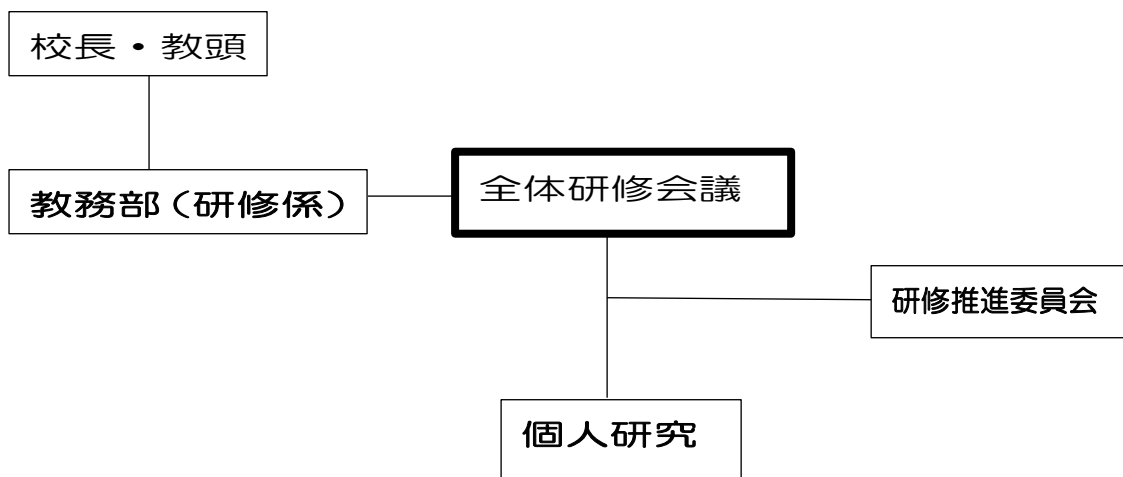
5 目指す児童像 『仲間と共に協力して学びを創造し, 最後までやりぬく子ども』

～付けたい力と各学年の目標～

- (ア) 自ら考える力
- (イ) 考えたことを書いて整理する力
- (ウ) 学びを生かす力
- (エ) 複式授業指導(学習規律, 学習リーダー育成)

付けたい力		学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(ア) 自ら考える力			◎	◎	◎	◎	◎	◎
(イ) 考えたことを書いて整理する力	身近な物事を説明する文を書く		○	◎				
	紹介したいことをメモにまとめる		○	◎				
	疑問に思ったことを調べて文に書く				○	◎		
	収集した資料を使い, 説明する文を書く				○	◎		
	課題について調べ, 意見を記述する						○	◎
	事物のよさを人に伝える文を書く						○	◎
(ウ) 学びを生かす力							○	◎
(エ) 複式授業指導(学習規律, 学習リーダー育成)			○	◎	○	◎	○	◎

6 研究組織



7 研究推進計画〈本研究は、3年次計画で推進するものとする〉

- 〈一年次〉平成29年度
- 研究主題、副主題、仮説の設定
 - 全体研究推進計画提示、共通理解
 - 研究会議の運営
 - 授業研究
 - 授業実践
 - 成果と課題のまとめ

- 〈二年次〉平成30年度
- 方向性の修正、確認
 - 全体研究推進計画提示、共通理解
 - 研究会議の運営
 - 授業研究
 - 授業実践
 - 成果と課題のまとめ

- 〈三年次〉平成31年度
- 方向性の修正、確認
 - 全体研究推進計画提示、共通理解
 - 研究会議の運営
 - 授業研究
 - 授業実践
 - 3ヶ年の研究のまとめ
～教育実践発表会 紀要発刊～

9 研究の全体構造図

学校の教育目標
 明るい子 考える子 強い子

年度の教育目標
 ふるさとを愛し、地域づくりに貢献する人材の育成
 ～自分大好き、愛国大好き、学校大好き～

研究主題
 『進んで学び、考え、根拠や資料をもとにわかりやすく伝える児童の育成』
 ～国語科における言語活動の充実を通して～

目指す子ども像
 仲間と共に協力して学びを創造し、最後までやりぬく子ども

研究仮説1
 愛国モデルの中に意図的に書く活動を位置付けることにより、考えたことをわかりやすく伝える力を身に付けた児童が育つであろう。

研究仮説2
 自分の思いや考えを表現するための知識や経験と多様な思考手段を身に付ける指導の工夫により、自ら学びを求め、深め、高めようとする活用力（思考—判断—表現）を身に付けた児童が育つであろう。

研究の視点①
 少人数・複式学級の活用力を鍛える学習過程の構築（仮説1、仮説2）

研究の視点②
 少人数・複式学級におけるガイド学習を中心とした効果的な学習指導方法の改善。（仮説1）

研究の視点③
 自分の思いや考えを表現するための知識や経験と伝える方法を身に付ける指導の工夫。（仮説2）

研究の内容
 ○本校独自の一単位時間及び単元全体での学習過程の質の向上。（愛国モデル）
 ・ユニバーサルデザインの授業づくり。
 ～誰にでもできる、学習課題の明確化
 ・複式間接指導時における「主体的・対話的で深い学び」の導入。
 ・「伝えたい」、「受け入れたい」など相手意識をもった伝え合いと、学び得たことを新たな学びにつなげる学び合い。
 ・次の学びにつながる学習者による振り返り（自己評価）。
 ・定着、学習評価。

研究の内容
 ○少人数学級、複式学級でのガイド学習の在り方。
 ・学年別ガイド学習のマニュアルの作成
 ～発達段階に応じたガイドの育成。
 ・辞書調べ（新出漢字、言葉の意味等）

研究の内容
 ○児童の発想が生きる言語活動の充実。
 ・根拠を明確にし、自ら考える力を高める書く活動を通した一人学び。

支持的風土のある学級経営 基本的な生活習慣・学習習慣の定着

「確かな学力」を基盤とした生きる力

8 年間研修計画

	研修日	研修内容
1	4月24日(月)	研修の全体計画提案・審議
2	5月 1日(月)	理論研究(今年度の研究について)
3	5月17日(水)	理論研究(取組の確認)
4	6月19日(月)	提案授業 事前研① (5.6年生)
5	6月26日(月)	提案授業 事後研① (授業日 月 日)
6	7月10日(月)	道徳・外国語学習会 1学期の研究のまとめ
7	8月28日(月)	2学期の研究について
8	9月11日(月)	授業研 事前研② (3.4年生)
9	9月25日(月)	授業研 事後研② (授業日 月 日)
10	10月2日(月)	道徳・外国語学習会
11	10月16日(月)	授業研 事前研③ (1.2年生)
12	10月23日(月)	授業研 事後研③ (授業日 月 日)
13	11月27日(月)	理論研究・個人研修
14	12月11日(月)	道徳・外国語学習会
15	12月18日(月)	2学期の研修のまとめ
16	1月22日(月)	理論研究・個人研修
17	1月31日(水)	道徳・外国語学習会
18	2月 5日(月)	1年間の研究のまとめ①
19	2月19日(月)	1年間の研究のまとめ②
20	2月26日(月)	次年度への方向性検討
21	3月12日(月)	次年度への方向性検討

※ 職員会議のない月曜日を研修日とする。(原則)

※ 月に2回確保できない場合又は授業研の日程により、月曜日以外に研修日を設定する場合もある。

※ 授業研の日程については、授業者と相談、調整後に決定する。

※ 事後研は、授業日当日に行う。